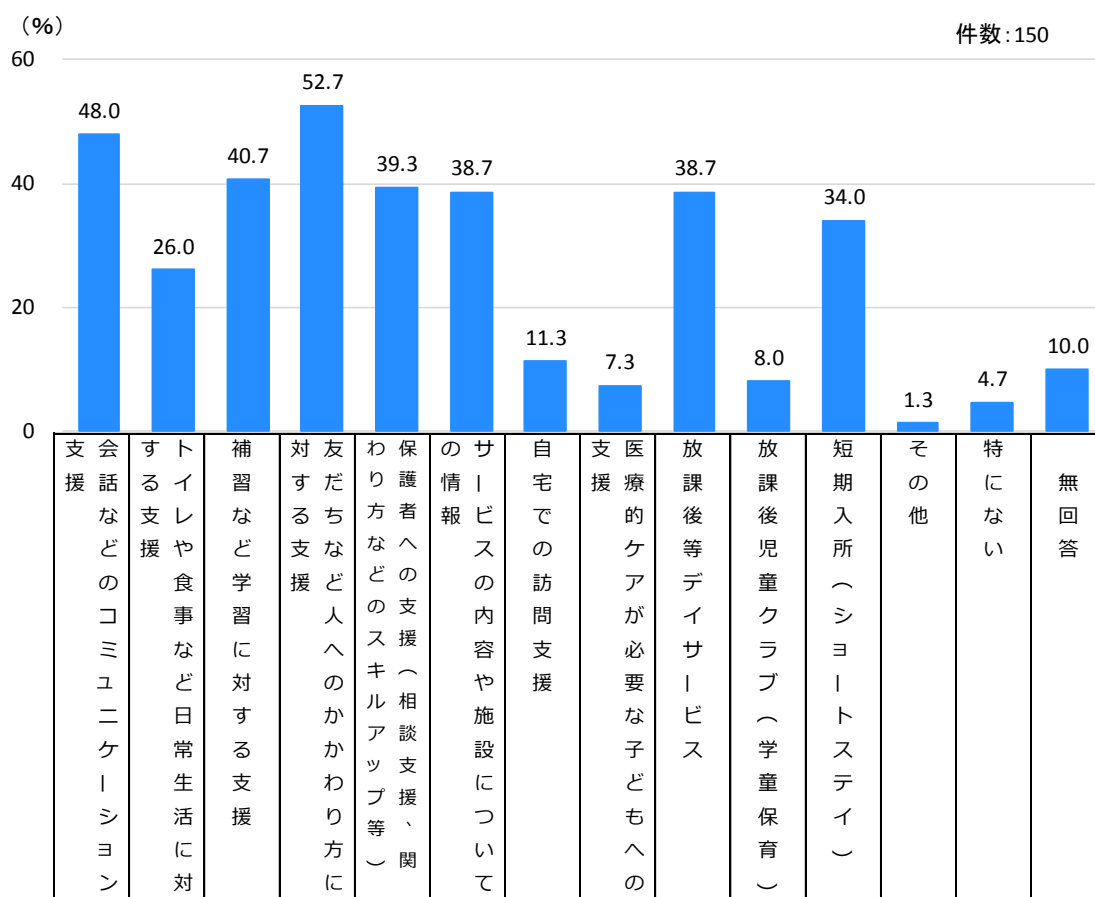


見
就学時の今後充実させるべき支援については、友だちなど人へのかかわり方に対する支援が52.7%で最も高く、次いで会話などのコミュニケーション支援となっています。

図表 1 今後充実させるべき支援(就学児)



2 障害福祉サービス等の成果目標

(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行

目標値の設定にあたっては、平成 28 年度末時点の施設入所者の 9%以上の人が地域生活に移行するとともに平成 32 年度末の施設入所者数を平成 28 年度末時点の施設入所者数から 2%以上削減することを基本とします。

本市では、以下のとおり目標設定し、達成に向けた支援を実施します。

図表 2 福祉施設の入所者の地域生活への移行

項目	数値	備考
平成 28 年度末の施設入所者数	125 人	平成 29 年 3 月末実績
【目標値】 32 平成 29 年度末における地域生活移行者数	12 45 人	平成 28 年度末時点の施設入所者数の 9%以上の人が地域生活へ移行
【目標値】 32 平成 29 年度末の施設入所者数	122 413 人	平成 28 年度末時点の施設入所者数から 2%以上削減

(2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

平成 32 年度末までに、協議会やその専門部会など保健、医療、福祉関係者による協議の場を設置します。なお、設置単位は本市単独での設置が困難な場合、近隣市町との共同設置も含めて検討します。

図表 3 福祉施設から一般就労への移行

項目	数値	備考
平成 28 年度中の一般就労移行者数	13 人	平成 28 年度、福祉施設利用者のうち就労移行支援事業等を通じて一般就労した者の数
【目標値】 平成 32 年度中の一般就労移行者数	20 人	平成 28 年度の一般就労移行実績の 1.5 倍以上とすることを基本とする

図表 4 就労移行支援事業の利用者数

項目	数値	備考
平成 28 年度中の就労移行支援事業の利用者数	21 人	29 数値については平成 28 年 3 月末時点
【目標値】 平成 32 年度中の就労移行支援事業の利用者数	26 人	平成 28 年度末における利用者数の 2 割以上増加
【目標値】 平成 32 年度末における就労移行支援事業所数	2 か所	—
【目標値】 平成 32 年度における就労移行率が 3 割以上の就労移行支援事業所数	1 か所	就労移行率が 3 割以上の事業所を全体の 5 割以上とすることを旨す